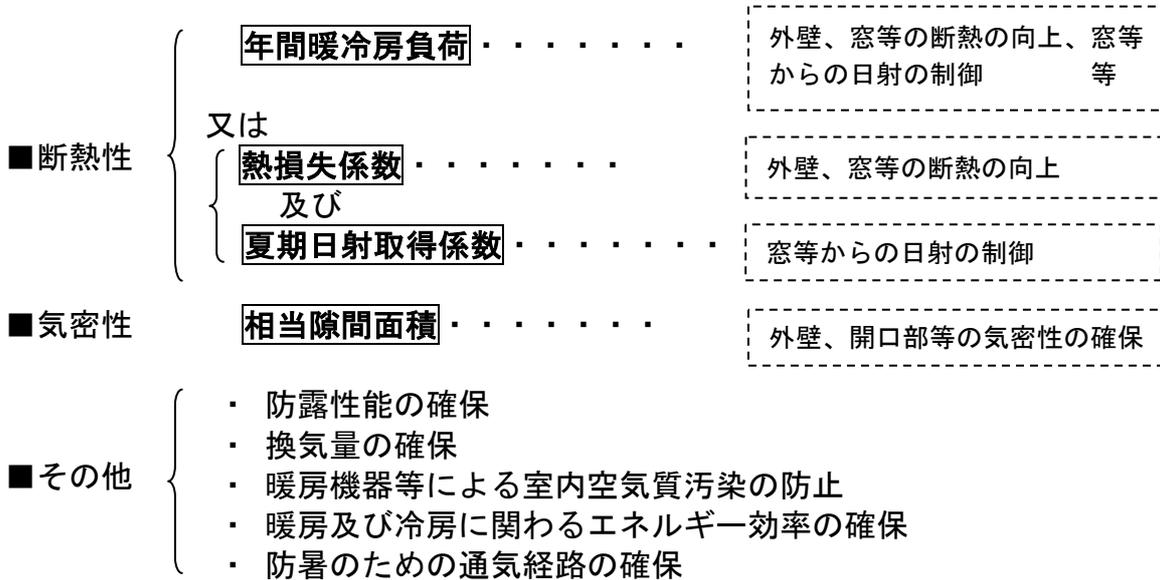


「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」及び「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する設計、施工及び維持保全の指針」の概要

1. 性能基準（判断の基準：年間暖冷房負荷、熱損失係数、夏期日射取得計数、相当隙間面積等）

○基本的な考え方（住宅の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置、空気調和機等に係るエネルギーの効率的利用のための措置）



数値基準	住宅の断熱性の向上		住宅の気密性の向上
	年間暖冷房負荷で規定	熱損失係数及び夏期日射取得係数で規定	
	住宅の年間熱負荷 (MJ/年) 住宅の床面積 (㎡)	住宅内部から外界へ逃げる時間当たりの熱量 (MJ/年) 住宅の床面積 (㎡)	実際に建物内部で取得される日射量 (㎡) 建物による遮蔽がないと仮定した場合に取得できる日射量 (㎡)
	住宅が1年間の冷暖房に必要とする単位床面積あたりの外部から侵入する熱と内部で発生する熱の合計を示したもので、住宅の外壁等の断熱性能が高いほど値は小さく(=省エネ性能が高く)なる。	住宅の内部と外気の温度差を1℃としたときに、住宅内部から外界へ逃げる時間当たりの熱量を床面積で除した数値で、住宅の外壁等の断熱性能が高いほど値は小さく(=省エネ性能が高く)なる。	住宅の隙間を通過する風量 (m <sup>3</sup> /時間) 住宅の床面積 (㎡)
		建物による遮蔽がないと仮定した場合に取得できる日射量に対する実際に建物内部で取得される日射量の冷房期間中の比率を示したもので、住宅の開口部等の日射遮蔽性能が高いほど値は小さく(=省エネ性能が高く)なる。	住宅の内外圧力差が9.8パスカルの時に住宅の隙間を通過する風量を住宅の床面積で除した数値により、住宅にどの程度隙間があるかを示すもので、住宅の気密性能が高いほど値は小さく(=省エネ性能が高く)なる。

○性能基準における現行の数値基準

	I	II	III	IV	V	VI
年間暖冷房負荷	390	390	460	460	350	290
熱損失係数	1.6	1.9	2.4	2.7	2.7	3.7
夏期日射取得係数	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06
相当隙間面積	2.0	2.0	5.0	5.0	5.0	5.0

- 共用部の設備
- ・ 空気調和設備に係るエネルギーの効率的利用
  - ・ 空気調和設備以外の機会換気設備に係るエネルギーの効率的利用
  - ・ 照明設備に係るエネルギーの効率的利用
  - ・ 給湯設備に係るエネルギーの効率的利用
  - ・ 昇降機に係るエネルギーの効率的利用

2. 仕様基準（設計及び施工の指針：部位ごとの熱貫流率、気密材の仕様等）

○基本的な考え方（住宅の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置）

■ 躯体の断熱性	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>部位ごとの熱貫流率 . . . . .</li> <li>又は</li> <li>断熱材の熱抵抗 . . . . .</li> </ul> 及び <ul style="list-style-type: none"> <li>断熱材の施工に関する基準 . . . . .</li> </ul>	断熱性能の高い断熱材の使用、 必要な断熱材の厚さの確保
		断熱材の施工方法、結露防止の ための措置、熱橋部の断熱補強 等
■ 躯体の気密性	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>気密材の仕様 . . . . .</li> </ul> 及び <ul style="list-style-type: none"> <li>気密材の施工に関する基準 . . . . .</li> </ul>	気密材の使用
		気密材の施工方法、連続した気 密層を確保するための措置等
■ 開口部の断熱性	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>開口部の熱貫流率及び窓の夏期日射侵入率 又は</li> <li>建具等の基準 . . . . .</li> </ul> 及び <ul style="list-style-type: none"> <li>設計・施工上の配慮 . . . . .</li> </ul>	断熱性の高い窓やドアの使用 建具及びガラスの具体的仕様
		冬期における太陽高度を勘案 した設計 等
■ 開口部の気密性	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>気密性等級 . . . . .</li> </ul> 及び <ul style="list-style-type: none"> <li>設計・施工上の配慮 . . . . .</li> </ul>	サッシの気密性等級（JIS）
		建具とガラスの重量の考慮等
■ その他	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>換気計画に関する基準</li> <li>暖冷房及び給湯の計画に関する基準</li> <li>通風計画に関する基準</li> </ul> 等	
■ 維持保全	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根及び外壁の表面に係る定期的な確認及び適切な補修</li> <li>開口部の建具に係る定期的な確認及び適切な補修</li> <li>ひさし又は軒等に係る定期的な確認及び適切な補修</li> </ul>	

<東京における木造戸建住宅の仕様例>

